

# 沖縄県スペシャリティ CL セミナー 開催のご案内

謹啓

先生方におかれましては益々ご清祥の事とお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、御礼申し上げます。さてこの度、下記の通りセミナーを開催させて頂く運びとなりました。

遠近両用コンタクトレンズにおけるトピックに焦点を当て、処方スキル及び問題解決の方法を学んで頂き、今後より良い処方に繋がればと考えております。

大変ご多忙とは存じ上げますが、ご臨席賜りますようご案内申し上げます。

謹白

## 【開催要項】

日時： 2020年2月14日(金) 19:00～ (開場:18:30)

会場： ザ・ナハテラス 3F 『アダン A』  
沖縄県那覇市おもろまち 2-14-1 TEL 098-864-1111(代表)

会費： 無料

## 【プログラム】

- |                                   |             |                     |           |
|-----------------------------------|-------------|---------------------|-----------|
| 1. 開催のご挨拶                         | 19:00～19:05 | 沖縄県眼科医会 会長          | 知念 靖 先生   |
| 2. 講演                             | 19:05～20:25 |                     |           |
| 講演 I                              | 19:05～19:45 |                     |           |
| 『もはやスタンダード！マルチフォーカルレンズの適応症例と快適処方』 |             |                     |           |
| 座長 琉球大学大学院医学研究科 医学専攻眼科学講座助教       |             |                     | 山内 遵秀 先生  |
| 演者 くぼた眼科 院長                       |             |                     | 久保田 泰隆 先生 |
| 講演 II                             | 19:45～20:25 |                     |           |
| 『眼科スタッフのための知っておきたい視機能検査』          |             |                     |           |
| 座長 琉球大学大学院医学研究科 医学専攻眼科学講座教授       |             |                     | 古泉 英貴 先生  |
| 演者 湖崎眼科 / 大阪大学                    |             |                     | 前田 直之 先生  |
| 3. 閉会のご挨拶                         | 20:25       |                     |           |
| 4. 情報交換会                          | 20:30～      | 場所： 同ホテル 3F 『アダン B』 |           |

【お問い合わせ】

日本アルコン株式会社 担当 船本 哲広  
TEL: 080-2577-6764 FAX: 092-481-2473

主催: 日本アルコン株式会社

JP-VC-1900040

# 沖縄県スペシャリティ CL セミナー 開催のご案内

## 講演1：「もはやスタンダード！マルチフォーカルコンタクトレンズの適応症例と快適処方」

久保田 泰隆 先生（くぼた眼科 院長）

### 【ご略歴】

1996年 奈良県立医科大学 卒業  
大阪大学眼科学教室 入局  
国立大阪病院眼科（現 国立病院機構大阪医療センター）  
1998年 松山赤十字病院眼科  
2001年 箕面市立病院眼科  
2003年 医療法人相馬眼科医院 加古川分院 院長  
2004年 医療法人創正会 イワサキ眼科医院分院 分院長  
2015年 くぼた眼科 開業



使い捨てソフトコンタクトレンズの普及から20数年が経過しその愛用者の多くが老視に悩む世代を迎え、否が応でもマルチフォーカルコンタクトレンズ（CL）処方の重要性は高まっています。

一方、携帯情報端末の普及により、私たちの視環境は急激に変化し視機能にかかる負担は予想以上に大きくなっており、いわゆる「スマホ老眼」と巷で呼ばれる若年者の眼精疲労も急速に増加しています。そしてマルチフォーカルCLは、本来の老視矯正としての役割はもとより眼内レンズ挿入眼や調節緊張による眼精疲労眼に対し処方されるなど適応症例が広がっています。

本講演ではアルコン社デイリーズ トータル ワン® マルチフォーカルを中心に、実症例を供覧しながらマルチフォーカルCLの特徴や快適処方のコツについて解説したいと思います。

## 講演2：「眼科スタッフのための知っておきたい視機能検査」

前田 直之 先生（湖崎眼科副院長、大阪大学大学院特任教授）

### 【ご略歴】

1984年 高知医科大学 卒業  
1992年 米国ルイジアナ州立大学 眼科リサーチフェロー  
1999年 大阪大学 眼科学教室 講師  
2001年 大阪大学大学院 感覚機能形成学 助教授  
2004年 大阪大学大学院 視覚情報制御学寄附講座 教授  
2017年 湖崎眼科 副院長、大阪大学大学院 特任教授



眼科の進歩に伴い、さまざまな眼疾患に対する内科的、あるいは外科的治療はかなり安全に施行できるようになりました。しかしながら、治療が眼科医の意図通りに行われ、通常の眼科検査では経過良好に見えるにも関わらず、患者が治療後の視機能に満足されず困惑することがあります。このような状況は眼科医・患者双方にとって不幸であり、避ける必要があります。

そこで本講演では、通常の屈折検査、視力検査に加えて、視機能評価に有用と考えられるコントラスト感度（縞視標コントラスト感度、文字コントラスト感度、低コントラスト視力）、角膜形状解析、波面収差解析などの検査について、その原理、適応、使用法、評価法について解説し、眼科外来での具体的な使用方法について解説させていただきます。